

十一月のまちびと

藤森 重紀

風の気配にふりかえると

散りしきる紅葉も

ひかりの旋律に変わっていく

噴水の虹を合図に

落ち葉を踏み

ミュージアムに集う

幾人ものアーティストたち

廻廊の棚に

さりげなく置かれた

謎多い版画家の伝記

まだ見ぬ絵の秘密が

そこにあるかのように…

この秋

ふいに思い立ち

煉瓦色の建物を訪ねたのは

いずれのまちびとからの

ことづてであったろう